

令和6年度 年度報告書

仏向原ふれあい公園

- 1 様式 1 (施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式 2 (管理運営体制（事業計画書様式2）の報告、利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告、維持管理（事業計画書様式4）の報告)
- 3 様式 3 (有料施設利用回数・人数・稼働率（月別）・利用料金収入実績、令和6年度公園利用状況)
- 4 様式 4 (令和6年度修繕実績)
- 5 様式 5 (令和6年度増減備品一覧)
- 6 様式 6 (苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式 7 (利用者アンケート結果)
- 8 様式 8 (研修実施報告)
- 9 様式 9 (無料事業実施報告一覧（自主事業含む）、有料事業実施報告一覧（自主事業含む))
- 10 様式 10 (業務の第三者委託実績)
- 11 様式 11 (収支報告書（指定管理事業のみ))
- 12 様式 12 (運営目標・実績報告)

横浜市指定管理者

夢を植える。未来を育む。 *Well future together*

 横浜植木株式会社

仏向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式1)

1 施設概要

公園名	・仏向原ふれあい公園
所在地	・保土ヶ谷区仏向町 1252 番 1 ほか
公園面積、公園種別	・7,204 m ² 街区公園
主な施設	分区園、協働農園、倉庫棟（トイレ共）、多目的広場、花木の散策路、斜面緑地
特徴	【分区園・協働農園の規模】 ・分区園（個人）12 m ² ×45 区画 ・分区園（団体）40 m ² ×2 区画 ・協働農園： 果樹園 170 m ² 、景観畑 250 m ² 【その他】 ・公園周辺には、中学校、地域ケアプラザ、新築の戸建住宅が多くあり、遊具や自由広場を設けた一般的公園ニーズに対応しています。 ・公園は、西側・北側に斜面緑地があり、北側・東側に開けた日当たりの良い敷地です。
公園開園日	平成31年4月1日開園

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜植木株式会社
代表者名	代表取締役 伊藤 智司
所在地	横浜市南区唐沢15
指定管理期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成31年4月1日～

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制の報告

(1) 管理運営体制

当公園の特性、運営方針にふさわしい施設長（以下、「管理運営責任者」という）及び副施設長（以下、「専任担当職員」という）を配置するとともに、現指定管理者としての管理実績に基づく適切な職員の業務分担の運営体制により運営しました。管理運営責任者は、公園内業務全ての責任を持ち管理運営を行いました。苦情要望への対応やイベントの企画開催、修繕計画・実行などを行います。また、他農園付公園の管理運営責任者と兼任とし、指示系統の一本化を行います。情報の共有化をすることができ、他農園付公園内での病害虫発生状況、不法行為などの情報の共有化、資材や道具などの共有化もしやすくなります。専任担当職員は、現地責任者とし、現地での利用者対応や園内作業などを行います。毎巡視日に管理運営責任者に当日の作業結果や利用者の様子等、必ず報告をして密に連携しました。

(2) 勤務体制

・平日1日、土日祝1日の週2日専任担当職員による巡視点検や、園地除草等維持管理作業、収穫体験、栽培相談などの利用者サービス対応を行いました。また、連絡員を登用し、職員不在時でもいち早く公園の状況を把握できるようにし、目の行き届いた管理運営を行いました。

・時間外の連絡体制・対応は、コールセンターを設け 365日 24時間連絡を受付可能にし、二次対応を管理運営責任者、本部担当職員が行いました。また専任担当職員については、可能な限り勤務地公園近隣に居住する者を配置し、不測の事態にも早期対応ができるような体制を構築します。さらに、利用者連絡員を配置し、迅速に現地の状況把握と対応ができるようにしました。

(3) 人員体制の考え方・職能等

項目	備考
施設長 1名	管理運営責任者
副施設長 1名	専任担当職員
運営スタッフ（正規） 5名	他農園付公園の専任職員2名、栽培相談員1名、本部指定管理課職員2名

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

運営スタッフ (非正規) 2名以上	利用者連絡員1名、地域サポーター(有志) 地域清掃スタッフ1名	
----------------------	------------------------------------	--

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

利用者ニーズ把握の取組み：利用者サービス向上の為、満足度把握とともに、利用者の多種多様な要望やニーズを把握しました。巡視日に利用者と直接コミュニケーションを取ることを最も重視しており、丁寧な対応を心がけ、利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりを行いました。

また、作業お知らせボードで「公園運営の見える化」に取組み、作業日当日に職員がどこで何の作業をしているのか一目でわかるように設置しました。居場所を発信することで、苦情要望や緊急時に迅速に対応できるようになり、安全安心な公園づくりに繋がりました。

満足度向上の取り組み：当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができます。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービス、分区園利用者以外の方々に向けた協働農園を活用した体験等、魅力を最大限に発揮し、利用者満足度の向上を図りました。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

巡視について

巡視点検表は、仕様書記載事項のほか、管理する中で気がついた重要点検箇所をエリア毎に図示できる独自の巡視点検表を作成して使用しました。

定期巡視	週2日（104回/年）	巡視点検表に記録
臨時巡視	台風・豪雨・イベント時・ 地域のイベント時	事故の防止、二次災害を防ぐ目的で実施
	※他公園での事故発生時	当公園においても起こりうる案件の場合は、緊急点検後、 内容・結果を市に報告

設備点検について

- ・建物（倉庫・トイレ）の施設点検は、週5日（260回/年）行いました。
- ・給排水設備は、日常点検・定期点検を適切に実施し、衛生面に配慮します。特に農作業で発生する土洗いなどで泥による詰まりが発生しやすい為、定期的な点検清掃を行いました。
- ・側溝は梅雨期・台風前は重点的に点検し、詰まりのないよう随時清掃を行いました。

維持管理

来園者が気持ちよく公園を散策できるよう、常に清潔で安心安全な路面を保ちました。

巡視時は園路上部の危険枝のチェックを行い、発見した際は随時剪定対応を行いました。

施設の長寿命化

日頃の巡視点検時から施設に配慮し、修繕箇所が悪化しないよう早期発見・対応を心掛けました。

（事業報告書様式3）

1 有料施設利用回数・人数・稼働率（月別） ※有料施設がある場合のみ該当

月別	分区園利用区画数	稼働率
4月	42	89%
5月	43	89%
6月	43	89%

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

7月	43	89%
8月	43	89%
9月	43	89%
10月	44	94%
11月	44	94%
12月	44	94%
1月	44	94%
2月	44	94%
3月	44	94%

2 利用料金収入実績

日 時	内 容	内 訳	利用料金収入 計
2月1日～ 3月31日	令和6年度 分区園利用料金	12m ² 区画×40区画 @18,000 720,000円	720,000円
4月1日～ 4月31日	令和6年度 分区園利用料金	12m ² 区画×2区画 @16,500 33,000円 (1ヵ月分免除)	33,000円
10月16日	令和6年度 分区園利用料金	12m ² 区画×1区画 @9,000 9,000円 (6ヵ月分免除)	9,000円
合計金額			762,000円

3 令和6年度公園利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

月別	公園の利用人数	備考
4月	一	
5月	14名	ニンニク収穫イベント 14名
6月	52名	タマネギ収穫イベント 28名 ジャガイモ収穫イベント 24名
7月	6名	ミニトマト収穫体験 6名
8月	6名	ミニトマト収穫体験 6名
9月	一	
10月	90名	サツマイモ収穫イベント 36名 昔遊びクラブ 54名
11月	一	
12月	27名	ダイコン収穫イベント 25名 サトイモ収穫体験 2名
1月	一	
2月	一	
3月	一	
年間合計	195名	

(事業報告書様式4)

令和6年度修繕実績（※指定管理者が実施したもののみ記入）

修繕年月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名または直営かの記載
1月9日	縁石（遊具広場）	3,000円	直営

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

1月 9日	擁壁（遊具広場）	3,000 円	直営
1月 21日	縁石（遊具広場）	4,000 円	直営
1月 21日	ベンチ	8,000 円	直営
1月 21日	U字溝継目（法面下）	3,000 円	直営
3月 27日	土留め（法面下）	128,000 円	植弘
合計		149,000 円	

（事業報告書様式5）

令和6年度増減備品一覧（※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入）

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
なし							

（事業報告書様式6）

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
	なし		

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	なし		

（事業報告書様式7）

利用者アンケート結果

アンケート項目

1. 貴方の年齢層・利用方法を教えて下さい。

①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代 ⑦80代以上

①単独利用 ②夫婦利用 ③親子利用 ④グループ利用 ⑤その他

2. 今年度分区園利用について、ご満足いただけましたか？該当するものに○をして下さい。

①とても満足 ②満足 ③ふつう ④やや不満 ⑤とても不満

3. 指定管理者 横浜植木株の今年度の働きはいかがでしたか？

①とても良かった ②良かった ③ふつう ④悪かった ⑤とても悪かった

4. 分区園の利用頻度はどのくらいでしたか？

①毎日 ②3日に一回 ③1週間に一回 ④2週間に一回 ⑤1か月に一回

5. 分区園の利用時間について、季節ごとに該当する番号をご記入下さい。 春：夏：秋：冬：

①早朝（6時～9時） ②午前中（9時～12時） ③午後（12時～15時） ④夕方（15時～18時）

6. 分区園のご利用目的は何ですか？

①趣味 ②健康 ③生きがいづくり ④お子様の食育 ⑤その他

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

7. 分区園を通して新しく築いた関係はありましたか? ①はい ②いいえ

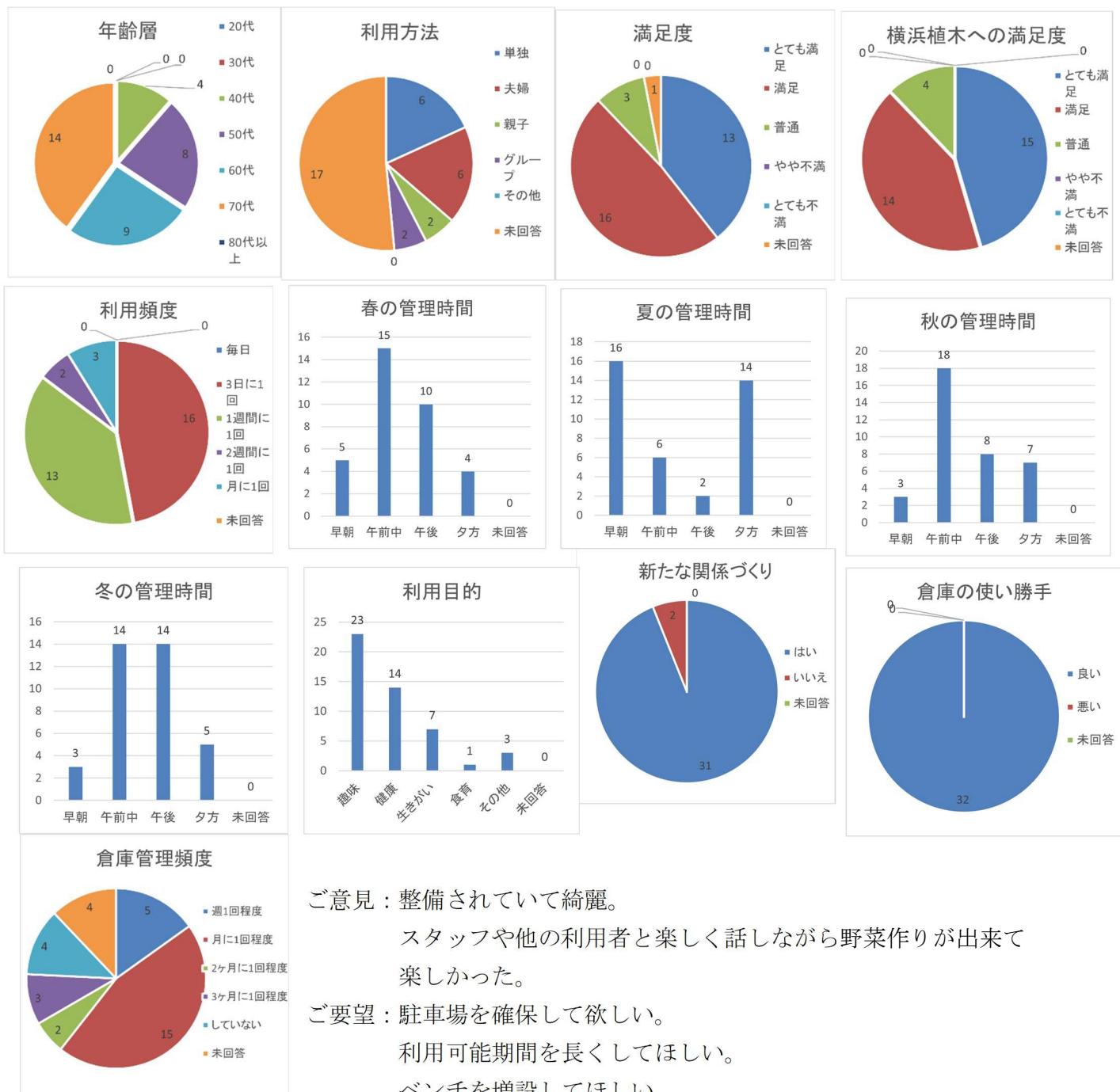
8. 共有施設部分は利用者に日常管理をお願いしていますが、どのくらいの頻度で行いましたか?

①週一回程度 ②月に一回程度 ③2か月に一回程度 ④3か月に一回程度 ⑤していない

9. 倉庫の使い勝手はいかがでしたか? ①良かった ②悪かった

10. 9. で ②悪かった と答えた方は、その理由があれば教えてください。

11. 分区園の利用について、何かご要望がございましたら、ご記入お願ひいたします。



ご意見: 整備されていて綺麗。

スタッフや他の利用者と楽しく話しながら野菜作りが出来て楽しかった。

ご要望: 駐車場を確保して欲しい。

利用可能期間を長くしてほしい。

ベンチを増設してほしい。

アンケート結果より (総括)

利用者層は、40代から80代以上と幅広い年齢の方に利用していただきました。

横浜植木に対しての満足度は高く、積極的な声かけやサポートの効果だと考えられます。今後も高い満足度を維持していくよう努めます。

仏向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	実施回数	研修名	参加人数	内容及び効果
1	4月～3月	12回	安全研修	5名	公園業務において重要なスキルを身に着けるため実施しました。
2	4月～12月 月1回開催	9回	植栽管理技術研修 (野菜作り)	5名	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作り等について研修を行いました。
3	9月～3月	3回	農業研修	5名	職員の栽培技術の向上の為、土作り、肥料、病害虫について学びました。
4	9月10日	1回	個人情報保護研修	5名	著作権侵害の注意すべきポイントを学びました。

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
作付け講習会	新年度が始まる前に、栽培相談員が土作りや作付け計画等についての講義を行いました。	32名	利用者説明会時
栽培相談日	週2日の巡回日の他に耕作アドバイスを月1回実施しました。相談員は、全国の農家を相手に指導・相談をしてきたベテラン栽培相談員です。土づくりから収穫まで指導を行いました。	85名	4～12月
昔遊びクラブ	仏向エリア子育て支援連絡会との協働イベントとして、紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました。	54名	10月
公園で遊ぼう	仏向エリア子育て支援連絡会との協働イベントとして、サツマイモ収穫イベントを開催しました。	36名	10月
栽培相談ノート	栽培相談ノートを設置し、栽培している作物や次に育てる作物に関して質問を受け付けました。回答は、巡回日・栽培講習会日にノートに記入し、誰でも閲覧できるようにしました。	—	通年
菜園生活ガイドブック	初めて野菜作りをする利用者が、野菜作りの基礎について確かめられることを目的に、季節の野菜の種類、植付け方法、マルチングの張り方等、写真を使って分かりやすくまとめたものを倉庫内に設置しました。	—	通年
無料配布	協働農園等で収穫を迎えた野菜等を無料配布しました。	—	4月～

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

			3月
収穫体験	協働農園で収穫を迎えた野菜の収穫体験を開催しました。	14名	7月 8月 12月
土壤検査	土の状態を把握することで、育てたい作物に適した土壤、肥料の調整に役立てていただきました。	—	通年
資材・道具の無料提供 (レンタル)	利用者に、より快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施しました。	—	通年
公園野菜のおいしい レシピの提案	旬の野菜を簡単に調理できるレシピの掲示や配布を行い、分区園の利用希望者数拡大に繋げました。	—	通年
緑のカーテン設置	地球温暖化対策などを目的に設置しました。	—	6月
プロの堆肥づくり	園内の大規模な堆肥置き場を活用し、正しい堆肥づくりを行いました。ゴミの削減、堆肥代の軽減に繋がり、分区園、協働農園等に利用し、循環型農業を目指しました。	—	通年
花いっぱい活動	季節の花々やチューリップ、蝶々が好む植物等で公園内を彩りました。	—	通年
瓦版の発行	紙面で最近の公園の出来事、野菜、季節の花などをまとめ、掲示しました。	—	1月 3月
HP・SNSの活用 (Instagram)	来園のきっかけになるように、明るい雰囲気の写真を使用するように心掛けました。	—	3月～ 4月

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加 人数	実施 日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業 収入(円)
1袋毎の資材販売	重い堆肥等を現地まで運搬・販売しました。資材運搬を理由とする路上駐車対策にも繋がりました。	—	随時	27,360円	34,200円
耕運サービス	年1回無料耕運の他、夏野菜～秋冬野菜の切替時など希望者の畑の耕運を行いました。（個人 1,000円/回・団体 2,000円/回）	—	随時	8,000円	9,000円
収穫イベント	協働農園で栽培したニンニク・タマネギ・ジャガイモ・サツマイモ・ダイコンの収穫イベントを開催しました。	143名	5月 6月 10月 12月	12,870円	14,300円
合計				48,230円	57,500円

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
植栽管理	草刈工・剪定工	(株)佐藤造園	1,589,570 円	年3回	6~3月
植栽管理	草刈工・剪定工	植弘	75,000 円	一	5~10月
電気設備・保守点検	園内灯設備保守点検業務	株平岡電機	66,000 円	年1回	9月
施設管理	廃棄物処分	緑のリサイクルプラント	46,800 円	年8回	4~1月
施設管理	廃棄物処分	緑のリサイクルプラント	13,911 円	年4回	4~1月
施設管理	廃棄物の処分	株タケエイ	67,800 円	随時	通年
コールセンター	夜間・緊急時・年末年始等対応	京浜警備(株)	3,000 円	時間外	通年

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	8,197,676		8,197,676	8,197,676	0	
利用料金収入	930,000		930,000	762,000	168,000	
自主事業収入	108,500		108,500	57,500	51,000	
横浜市による運営支援	0		0	0	0	
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	9,236,176		9,236,176	9,017,176	219,000	
収入合計 (a)	8,197,676		8,197,676	8,197,676	0	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	4,081,028		4,081,028	4,116,728	-201,000	
給与・賃金	3,459,600		3,459,600	3,497,900	-113,600	
社会保険料	579,528		579,528	576,928	-87,400	
通勤手当	24,500		24,500	24,500	0	
福利厚生費	17,400		17,400	17,400	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,855,826		1,855,826	1,779,311	76,515	
旅費	130,000		130,000	142,087	-12,087	
消耗品費	1,033,826		1,033,826	1,030,800	3,026	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信運搬費	20,000		20,000	22,700	-2,700	説明会切手代等
使用料及び賃借料	130,000		130,000	142,087	-12,087	
(横浜市への支払い分)	0		0	0	0	
(その他)	0		0	0	0	
備品購入費	380,000		380,000	288,976	91,024	
保険料	31,000		31,000	33,748	-2,748	見積額
振込手数料	1000		1000	1,000	0	

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

リース料	240,000		240,000	240,000	0	
手数料	0		0	0	0	
その他事務費	20,000		20,000	20,000	0	
自主事業費	108,500		108,500	48,230	60,270	
管理費	2,770,822	0	2,770,822	2,568,676	202,146	
光熱水費合計	262,000	0	262,000	195,245	66,755	市提案額
光熱水費（電気）	135,000		135,000	99,767	35,233	
光熱水費（ガス）	0		0	0	0	
光熱水費（水道）	127,000		127,000	95,478	31,522	
光熱水費（下水道）	0		0	0	0	
清掃費	232,722		232,722	242,350	-9,628	
修繕費	133,100		133,100	149,000	-15,900	
機械警備費	33,000		33,000	33,000	0	
公園及び公園施設設備保全費	2,110,000		2,110,000	1,949,081	160,919	
施設（建物）・設備保守	110,000		110,000	106,000	4,000	電気設備点検
園地管理費	2,000,000		2,000,000	1,843,081	156,919	草刈 140 万円、樹木剪定 30 万円、廃棄物処分 30 万円
その他保全費	0		0	0	0	
公租公課	0		0	0	0	
公租公課（事業所税）	0		0	0	0	
公租公課（消費税）	0		0	0	0	
その他公租公課	0		0	0	0	
事務経費（本部分）	365,000		365,000	365,000	0	
雑費	55,000		55,000	55,000	0	利用者連絡員、通信費等
支出合計（b）	9,326,176		9,326,176	8,932,945	303,231	
差引（a-b）	0		0	84,231	-84,231	

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	120,000		120,000	119,882	118	自動販売機
設置管理許可支出合計（d）	42,520		42,520	42,432	3,000	電気代
差引（c-d）	77,480		77,480	77,650	-2,882	

今年度の収支報告

- ・花修景で使用する球根・花卉類は当団体の取扱い商品を使う事で、珍しい種類でありながら定価以下の価格で調達しました。咲き終わった球根は利用者へ無料で配布する等創意工夫で利用者満足度を向上しました。
- ・研修やOJTにより常に職員のレベルアップを図り業務の効率化を行いました。
- ・地域人材の育成、地域協働の推進という観点からパートタイマーは積極的に地元雇用を図りました。副次的な効果として通勤費の縮減が期待できました。
- ・コスト意識を持ち指定管理料縮減に努めました。直営作業を基本とし、委託費縮減に努めました。
- ・不具合のある道具を使用することは作業効率低下だけでなく、思わぬ怪我にもつながります。備品は定期点検と適切なメンテナンスを行い作業効率維持と備品の長寿命化に努めました。

仏向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価】 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	指定管理者評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営 1 (事業計画書 様式 2 : 運営 業務の実施計 画・取組)	個人分区園利用率 100%と 公園の知名度向上として、 近隣地域への広報 PR 活動 を行い、イベント参加者 20 名以上を目指します。また、施設の長寿命化のた め、日頃の巡視点検時から 施設には配慮し、修繕箇所 が悪化しないうちに、早期 発見・早期対応を心掛ける とともに、人と人を繋ぐコ ミュニティ形成の場となつ ていくように良好な自然環 境と景観の維持に努めま す。	分区園（個人区画）利 用率 98%、（団体区画）利 用率 0%。 分区園利用率は未だ 100% に満たないため、今後も 利用者の募集が必要です。 施設関係は、巡視日以外 にも公園に赴きチェック を行い、施設点検を行いました。	△	次年度は分区園を 100 % 稼働させるた め、掲示・ポスティング ・ HP・来園者への声 掛けなど、分区園の広 報活動に努めます。 分区園利用者満足度向 上に努め、イベントの 開催時には、掲示物の 掲示箇所を増やすなど して、より多くの方に 周知します。 点検に関しても、引き 続き職員が巡回し、迅 速に対応します。
業務運営 2 (事業計画書 様式 2 : 管理 運営体制、人 員の配置と研 修計画)	・緊急時に対応できる柔軟 な配置 施設長 1 名 副施設長 1 名 運営スタッフ（正規） 3名 運営スタッフ（非正規）2 名以上 本部指定管理課職 員 2 名 防災訓練の実施等を徹底し ます。 ・「利用者満足度向上」や 「継続的利用」につながる 体系的な研修（様式 2 (4) 研修計画のとおり）と自己 啓発環境の整備し、信 頼性、安心感、清潔感、共感 力、迅速さを養う研修を実 施します。	左記人員通りに配置し ました。 また、常に本部職員が待 機し、防災・災害対応に 備えました。 公園での防災訓練は実施 出来ませんでしたが、大雨、 強風、大雪後には迅 速に職員が巡回を行い、 利用者の安全を確保し ました。 また、草刈・除草や樹木 管理の際の安全研修を毎 月開催し、作業に対する 安全意識や知識のレベ ルアップを図りました。	○	複数の職員が運営に関 わっていくことで、誰 にとっても安心安全な 公園運営に努めます。 緊急時の対応につい ては、防災のための行動 計画を職員全員で共有 し、災害に備えます。 農園付き公園の職員と して必要な能力（安 全・お客様目線で考 え、行動できる）を身 に着けられる研修を ミーティングの際に継 続して実施します。

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

<p>業務運営3 (事業計画書様式3:利用者サービスの向上・利用促進策)</p>	<p>①分区園利用者以外の方の協働農園への来園 ②アンケートの満足度 85%以上 利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりを行うことで、積極的かつ迅速な対応で公園の魅力アップに努めます。</p>	<p>収穫体験者のべ178名 アンケート満足度 97% 収穫体験やイベントの開催により、分区園の利用者以外の方の協働の来園を促しました。</p>	<p>○</p>	<p>収穫体験用の野菜は変わり種の品種を混ぜて栽培するなど、参加者の満足度向上の取り組みを行い、何度も参加したいと思ってもらえるような、農体験イベントを行います。 利用者のサポートやサービスに関しても継続して行い、公園の魅力アップに努めます。</p>
<p>業務運営4 (事業計画書様式3:広報・プロモーションの取組)</p>	<p>SNSを毎月1回以上の更新を行うなど、来園者に分区園や公園の魅力を知っていただき、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報活動をし、世代間の交流を含めた様々な人たちの輪が拡がっていくような広報を積極的に行います。</p>	<p>SNSでは、来園のきっかけとなるような、花木の開花情報などの情報発信を行いました。また、来園者とのコミュニケーションの活性化、分区園利用者のサポートを目的に職員の来園スケジュールを発信しました。</p>	<p>○</p>	<p>来園の動機となるような投稿を行います。写真を投稿する際には、撮影時設定の工夫や、写真加工を行い、SNS映えするような写真の発信を行う予定です。</p>
<p>業務運営5 (事業計画書様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<p>様式3(3)の「具体的な取組み」とおり、利用者にとって安全安心な公園づくりを行います。また、市民主体の活動をつくり、公園全体の賑わいを創出します。</p>	<p>利用者にとって安全安心な公園づくりを行う為、利用者連絡員や地域サポート、地域清掃スタッフを配置する体制を取りました。</p>	<p>○</p>	<p>次年度も利用者連絡員や地域清掃スタッフと連携した運営を行うほか、市民協働のイベントを開催出来るよう、活動を行います。</p>
<p>業務運営6 (事業計画書様式3:地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)</p>	<p>様式3(4)のとおり、より良い公園にしていくために、こまめな声掛けや、丁寧な管理を心掛け、必要とされるような公園運営を目指します。また、地域活動を活性化させていく場所として、地域コミュニティ活性化に協力し、地域活動を広げていきます。</p>	<p>収穫した野菜などの無料配布の際には、積極的に来園者に声掛けを行いました。公園に来るのが楽しみになるよう、職員全員で、来園者とのコミュニケーションを深めています。</p>	<p>○</p>	<p>来園者と積極的にコミュニケーションを取り、誰もが安心して利用できる公園を維持します。</p>

仏向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

業務運営 7 (事業計画書 様式 3：本市 の重要施策を 踏まえた取 組・環境への 配慮)	様式 3 (8) に掲げたとおり、横浜市の SDGs 未来都市計画について、近隣住民や市と連携して環境への配慮・文化創出・防災対策など様々な面に於いて積極的に課題解決に取組み、街と緑の共存を進めることで、人々の社会生活に豊かさと心のゆとりを提供します。 また、2027 年横浜市上瀬谷で開催される国際園芸博覧会の成功に向けて、横浜市との協力体制を築くとともに、新たに国際園芸博覧会 PR 花壇を整備します。横浜市が目指す風景創りに足並みを揃え、最先端の緑の技術を活かし、情報発信の拠点となるような花壇とします。	農業に触れる機会を作り出し、興味を持つきっかけづくりの1つである、収穫イベントを行いました。 また、Green × Expo2027 (国際園芸博覧会) の開催に伴い、花壇やプランターに、草花を植栽しました。適宜施肥や灌水などを行い、美しく開花するよう管理しています。	◎	次年度も収穫体験やイベントの開催を通じて、農業の楽しさを伝える活動を行います。植栽に関しても、補植や植栽の追加を積極的に行い、Green × Expo2027 (国際園芸博覧会) に向けた準備を行います。
業務運営 8 (事業計画書 様式 4：公園 の魅力を高め る施設保全・ 管理)	当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができる場があることです。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービスを行うとともに、管理棟・トイレなどの維持管理に努めます。また様式 4 (3) に記載した計画表のとおり、施設の長寿命化のため、日頃の巡視点検時から施設に配慮し、修繕箇所が悪化しないうちに、早期発見・早期対応を心掛けます。	栽培相談日、作付け講習会で分区園利用者にアドバイスを行いました。栽培ノートや農具の貸出しは随時行いました。また、利用者の安全と利便性確保を目的に、巡視日と巡視日以外にも各施設の目視点検を行いました。	◎	次年度も栽培相談や栽培ノートなどの利用者サービスを行います。巡視日と巡視日以外の目視点検に関しても、継続します。

仮向原ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

業務運営 9 (事業計画書 様式 4 : 施設 (建物等)、 設備の維持管 理、修繕計 画)	建物（倉庫・トイレ）の施 設点検は、週 5 日（260 回/ 年）行うなど、誰もが安全 安心、清潔快適に利用でき るよう、質の高い維持管理 を行い、人と人を繋ぐコ ミュニティ形成の場となっ ていくよう良好な自然環境 と景観維持に努めます。	左記のとおり、建物（倉庫・ト イレ）の施設点検は、264 回 行いました。誰もが安全安 心、清潔快適に利用できる よう、質の高い維持管理を行 いました。	○	水準書に基づいた管理 作業を実施します。 また、果樹などは無料 配布や収穫体験の開催 に向けて、適切な管理 を行います。
業務運営 10 (事業計画書 様式 4 : 樹 木、植栽等の 管理)	様式 4 (4) に記載したとお り、利用者への安全配慮の 見える化を実施し、裸地や 不陸があった場合は、養 生、用地の補充を行い、適 切な草地管理を行います。 また、果樹それぞれの特性 を踏まえ、樹種ごとに適切 な年間管理計画を立て、実 施します。	園内の状況を見て、近隣 住民や来園者の目につき やすい、草の伸びが早い 等の箇所は、水準書以上 の管理となるように心が けました。	○	次年度も巡視・清掃を 行い、近隣に配慮した 管理を継続します。
業務運営 11 (事業計画書 様式 4 : 巡 視・清掃)	様式 4 (5) 巡視・清掃のと おり、修繕箇所の早期発見 を心がけ、日常巡視を行 い、汚れ、落葉、ゴミの有 無、清掃、ゴミ収集を実施 します。道路・住宅沿いの 落葉清掃は徹底して行い、 近隣に配慮します。	園内の状況を見て、草の 伸びが早い箇所は他エリ アより回数を増やす等、 水準書以上の管理となる ように心がけました。	○	日常清掃に力を入れる ことで、建物や設備の 維持管理を徹底し、い つも清潔な状態を保ち ます。また、植栽管理 にも力を入れます。
収支 (事業計画書 様式 7 : 収入 確保、経費節 減策)	利用者サービスを充実さ せ、自主事業の収益増を目 指します。また各施設に關 しては、耐用年数表と現場 の状況に応じて、修繕計画 表を作成し、計画的に修繕 を行うことでライフサイク ルコスト縮減をめざし、長 寿命化と美観保持に努めま す。	協働農園の野菜は自社製 品を中心に、園内で必要 な資材は取引先から安価 で購入できる資材を活用 しました。	◎	剪定などの植栽管理や 修繕を行う際には、出 来るだけ早期に職員が 対応し、外注費を削減 します。